

# NICあれこれ探検隊

このコーナーでは、日ごろあまり表に出ることのないNICの事業やボランティアスタッフの活動などをご紹介します。みなさんの知らなかったNICのあれこれを見つけてみてください。

## 多様性を社会のチカラに、地球の課題を自分ゴトに…NIC地球市民教室をご紹介します！

### NIC地球市民教室とは？

NICに登録する外国人やNGO/NPO職員が講師として学校などに出向き、異文化への理解を深めたり、貧困や教育、環境、多文化共生など、世界の現状について考える講座やワークショップ(参加型学習)を行います。昨年度は204件実施しました。

### 講師はどんな人？

現在39か国1地域105名の外国人が講師として登録。チャレンジコース(右枠②)では、国際協力や多文化共生に取り組むNGOやNPOの職員も講師となり、支援現場の様子や声をお届けします。



### どんなコースがあるの？

①異文化理解コース【世界を知る】  
世界各国の文化、言葉、生活習慣などを外国人講師が紹介します。音楽や料理などを取り入れた体験型プログラムも可能です。  
<対象>小学生～大学生、地域の非営利団体



▲マタさんのペレ紹介

②チャレンジコース【世界を考える】  
貧困、教育、多様性…。世界の現状について理解を深めます。  
<事例>  
愛知サマーセミナーでは、中川商業高校の生徒と共同で多文化共生についてのワークショップを行いました。  
<対象>  
中学生・高校生・大学生、地域の非営利団体



▲ワークショップの様子

### 発見！地球市民キャンパス

チャレンジコースを体験できる1日です。本年度は「国際移住者」「教育」「難民」をテーマに開催。世界や日本の課題と私たちの暮らしとのつながりについて考えました。来年度は7月下旬実施予定です。ぜひご参加ください。  
<対象>主に中学生・高校生、教育関係者



▲地球市民キャンパス

NIC地球市民教室は、外国人講師・教育関係者・NGO/NPO職員との連携により、深い学びができるプログラムです。新・学習指導要領の実施に向けて注目されている「アクティブラーニング」の授業としてもご利用ください！



問 交流協力課 ☎052-581-5691 ✉koryu@nic-nagoya.or.jp

NIC地球市民教室について、詳しくはこちらをご覧ください。▶

# ぶらりライブラリー

特に目的があるわけではないけど、ぶらっと来てみたら、気になることに出合える場所。このコーナーでは毎回NICライブラリーのご紹介をします。  
NICライブラリー 名古屋国際センタービル3階 9:00～19:00 月曜休館

## 「立ち止まる」

スロー(slow)と聞いてどんなイメージを浮かべますか？一般的に、遅い、緩慢といった否定的なイメージを描き、反対語のファスト(fast)、速い、早い方が優れている気がします。競争社会に生きる私たちは、少しでも他者より優位に立ちとうと、その速さの肯定的なイメージを利用して、「速さ」を売りにしたり、スピードを競ったりしています。それは1つの価値観(物差し)でしかありません。

しかし、それが唯一の価値観になると、他者と競うことが当たり前になり、時に「何のために競っているのか」を見失い、他者を意識することが日常化し、息苦しささえ感じることがあります。

近年、それとは異なる「スロームーブメント」という動きがあります。利益や効率だけを追い求めるのではなく、その質を見直し、それぞれにあったペースで進めようというものです。その動きは、様々な分野で少しずつ、しかし着実に広がりを見せ、人々の心を捉えています。

この動きは、1986年に起こったスローフード運動が始まりだと言われています。スローライフ、スロー教育、スロージャーナリズム、スローツーリズム…。皆さんも耳にしたことが

あるかもしれません。この辺で、ちょっと立ち止まって多様な価値観に触れ、私たちにとって大切なことは何なのか見直してみませんか。



上段左から  
①「スローフード・バイブル」  
②「フィンランド人が教えるほんとうのシンプル」  
③「ブータンが教えてくれたこと」  
④「スロー・イズ・ビューティフル」  
⑤「よきことはカタツムリのよう」

クイズ Q. スローフード運動が始まったのはどこの国？

本があるのは… ①②各国紹介・ヨーロッパ州(①イタリア②フィンランド)/③各国紹介・アジア州(ブータン)/④⑤大人の国際理解

# 国際留学生会館から

## 「1年間の留学生生活を振り返って」 ～私の最高の留学生生活～

Rendez-vous à nouveau.  
ランデヴー ア ニューヴ  
また、お会いしましょう！(フランス語)

### 愛知県立大学外国語学部交換留学生 マチュー ゴスラン(フランス出身)



昨年9月に来日、チューター\*としても活躍し、今年9月に帰国したフランス出身のマチュー ゴスランさんに、1年間の留学生生活を振り返っていただきました。

私は母国の大学に在学中に日本人留学生と友人になりました。そこで初めて日本語に出会い、彼らとお互いの母国語を教えあい、交流を深めました。そしてさらに日本語を上達させたいと思い、日本へ留学しました。

国際留学生会館(以下「ISC」)での思い出は、一緒に入居していたブラジルやスペイン出身の留学生と名古屋港周辺を散策したり、ISCの屋上庭園で日本語、英語、スペイン語、フランス語などの言語



▲チューターの仲間とともに(左から2人目がマチューさん)

で何でも語り合い、お互いに理解しあえたことが一番楽しい出来事でした。

「留学生による外国語講座」では、フランス語講師を務めました。市民の皆さんに私の母国のことやフランス語をお伝え

ることで、相互交流の機会をいただき、私自身も大変勉強になりました。

チューターを務めたことも、とてもよい経験でした。チューターに選んでいただいたことは光栄でしたが、他の留学生のサポートをするという大役が自分にできるか、不安もありました。それでも他のチューターと協力し合い、皆で相談しながら在留留学生のためのイベントを企画し、日本人チューターを含む学生



▲留学生による外国語講座にて講師を務めた

同士の交流を図ることができました。また、新入居者を対象とした市内を巡るバスツアーでは班長として留学生を引率し、名古屋に親近感を持ってもらえるように心掛けました。

ISCでは様々な経験をさせていただき、最高の留学生生活を送ることができました。また必ず日本に戻ります。私の留学生生活を支えてくださった皆さんに心から感謝いたします。

\* 留学生の日常生活について助言したり、ISCの事業や運営に協力する学生。

### 国際留学生会館とは…

NICが2001年から管理・運営している、名古屋市区にある留学生専用の宿泊施設。居室90室のほか、研修室や和室、体育室などを備え、100名の留学生が生活できる。日本文化理解講座の開催や各種相談・情報提供、地域住民との交流などを行っている。

# グローバルに活躍する若者たち

## NIC Global Youth Award 2017

### 受賞団体によるメッセージ

今回は、「NIC Global Youth Award 2017」<sup>1)</sup>において、奨励賞を受賞した「日本福祉大学付属高校 国際協力部」と、審査員特別賞を受賞した「Help Rohingya(ヘルプ・ロヒンギヤ)」<sup>2)</sup>の皆さんからのメッセージです。

### 【奨励賞】日本福祉大学付属高校 国際協力部

「世界に笑顔を届けよう」を合言葉に、主に子どもたちの役に立てるよう、「知ること」「発信すること」「行動すること」を柱に活動する部活動です。「高校生も身近にできる国際協力」を心がけ、活動しています。



グローバルな視点で物事を捉え、行動するために、まずは知ることが大切です。貧困問題などを学び、クイズなどにして分かりやすく説明できるように工夫しています。その学びを講座の企画につなげ、文化祭や学外の愛知サマーセミナーなどで発信の場を設けて発表しています。また、身近にできる国際協力として、フェアトレードの啓発活動やフィリピンの子どもたちとの交流イベントの企画等を行っています。

高校生ならではのアイデアを提案し、自分たちができるところを見つけ、行動に移すことで、世界が抱える様々な問題を自分たちの問題として考えられるようになってきています。

### 【審査員特別賞】Help Rohingya

6,850万人。国連難民高等弁務官事務所によると、2017年、世界ではこれだけ多くの人々が紛争や暴力、迫害によって移動を余儀なくされています。



▲ロヒンギヤ難民の現状やニーズの調査を実施

ロヒンギヤ難民の数は約100万人。ミャンマーで弾圧を受け、バングラデシュに逃れています。私たちが現場で見た光景—ミルクがなく、乳児のぼかんと開いた口と閉じられた瞳。果たして学生の私たちにできることはあるのだろうか？と悩み、考えました。

私たちは国際協力のプロを目指す学生により設立された団体です。これまでにロヒンギヤ難民に対する食糧支援などを実施してきました。現在はバングラデシュに駐在し、ニーズ調査などを行っています。現地からの発信と日本でのイベント、また長期的なプロジェクトで、これからもこの問題を多くの方に周知し、継続して取り組んでいきます。

\*1 「国際交流・国際協力・多文化共生」などの分野で活躍している若者の団体を表彰し、活動をサポートするNICのプロジェクトです。  
\*2 NIC Global Youth Award 2017当時は「SUAC For People」。本年3月より現団体名に変更

NIC Global Youth Award 2017の様子は、こちらの動画をご覧ください ▶

